

第1回：戦後の健康づくり対策と地域歯科保健の変遷

- <本日の到達目標> ①戦後の健康づくり対策の流れを知る。  
② 地域歯科保健の変遷と 8020 運動の流れを知る。

1. 健康づくり対策の流れ（図Ⅲ-1-10 参照）保・生 p 239～

昭和 20（1945）年 ～40 年

- ・急性伝染病対策
- ・結核対策
- ・母子保健対策
- ・公害対策

「成人病」

\*石油危機（オイルショック 1次 1973 年、2次 1979 年）

⇒経済の低成長・人口の高齢化

昭和 53（1978）年～第 1 次国民健康づくり対策

健康診査の充実、市町村保健センターの整備、

保健師や栄養士等マンパワーの確保

ライフスタイル改善運動の 3 本柱

昭和 63（1988）年～第 2 次国民健康づくり対策 ～アクティブ 80 ヘルスプラン

（ ）の普及に重点を置いた対策（運動方針の策定、健康増進施設の推進等）

・1996 年～「成人病」⇒ 「 」

（ ）、（ ）、（ ）、（ ）、（ ）

などの生活習慣が、その発症・進行に関与する疾患群を表すものとして（ ）

が導入した概念である。

平成 12（2000）年～第 3 次国民健康づくり対策～21 世紀における国民健康づくり運動（健康日本 21）

平成 15 年：（ ）の施行（健康日本 21 の法的根拠）

平成 18 年：医療制度改革関連法の成立

平成 20 年：（ ）

厚生労働省は、医療制度改革とも合わせ「 」の概念を取り上げ、

内臓脂肪の減少に主眼をしばった生活習慣病対策を推進している。

平成 25（2013）年～第 4 次国民健康づくり対策 ～健康日本 21（第 2 次）～

健康寿命の延伸と健康格差の縮小が盛り込まれた「健康日本 21（第 2 次）」が策定された。

\*メタボリックシンドローム

2. 地域歯科保健の変遷と 8020 運動 表Ⅲ - 1 - 9 主な地域歯科保健関係施策の推移

1928 年	「虫歯予防デー6月4日」を定める
1947 年	保健所法改正
1948 年	
1952 年	第1回母と子のよい歯のコンクール（以後毎年）
1957 年	第1回歯科疾患実態調査（ ）
1958 年	「歯の衛生週間6月4日～6月10日」始まる
1961 年	（ ） 歯科健康診査開始
1963 年	母子歯科保健指導要領
1974 年	歯科保健問題懇談会報告書提出
1977 年	（ ） 歯科健康診査開始
1987 年	老人保健事業で歯の重点健康教育、歯の重点健康診断の開始
1988 年	在宅寝たきり老人歯科保健推進モデル事業開始
1989 年平成元年	歯科衛生士法一部改正（歯科衛生士業務 + ） 成人歯科保健対策検討会中間報告書（ ）
1990 年	保健所における歯科保健業務指針作成
1991 年	成人歯科保健対策推進事業開始 歯の衛生週間の重点目標が「8020 運動の推進」となる
1992 年	8020 運動推進対策事業開始 寝たきり老人等に対する訪問口腔衛生指導開始
1993 年	8020 運動推進支援事業開始 在宅心身障害（児）者歯科保健推進事業開始
1994 年	保健所法全面改正（ ）
1995 年	老人保健事業における総合健康診査の項目に歯周疾患検診導入
1997 年	都道府県及び市町村における歯科保健業務指針 歯科保健推進事業開始
2000 年	8020 運動推進特別事業開始 老人保健事業における歯周疾患検診を独立した検診として実施
2002 年	フッ化物洗口ガイドライン策定
2003 年	健康推進事業実施者歯科保健支援モデル事業開始
2008 年	歯周疾患検診は、（ ）に基づく市町村任意事業となる
2009 年	歯科保健と食育の在り方に関する検討会報告（嚙ミング 30 の提唱）
2010 年	在宅医療連携室整備事業開始
2011 年	（ ）に関する法律施行
2012 年	歯科口腔保健の推進に関する基本的事項（大臣告示） 「歯の衛生週間」から（ ）に名称変更
2013 年	口腔保健推進事業の開始
2014 年	歯科衛生士法一部改正（予防処置実施の際、歯科医師の指導の下に行うこととし、「直接の」指導までは要しない）